

1週間の旅のカタチをご提案！

あなただけの理想の旅 “至福の癒し旅” メキシコ編



カンクン・リビエラマヤは
気温も高く夏服で十分。
外出する時は日焼け対策を
行った方が良い

高度な文明が栄えた古代遺跡とカリビアンブルーの
美しい海を併せ持つ国、メキシコ。
雄大な大自然が織りなす極上のビーチリゾートは
世界中から多くの観光客が訪れる。

正式国名：メキシコ合衆国
United Mexican States

面積：196万Km² (日本の約5倍)
首都：メキシコシティ

人口：約1億2,233万人 (2013年)

公用語：スペイン語 ※カンクンなどリゾートエリアでは英語の通用度は高い
日本との時差：-約15時間

カンクンへの日本からの直行便はなし。
アメリカ経由、メキシコシティ経由などがある
成田～メキシコシティ (約13時間30分) メキシコシティ～カンクン (約2時間)



通貨



通貨：ペソ 一般的に \$ と表記 補助通貨はセンタボ (¢)

1ペソ→100センタボ

1ペソ→約7.84円 (*換算レートの目安)

水



水：水道水は飲まないように。ミネラルウォーターの飲用を。

ペットボトル600ml (メキシコでは600ml が主流) 16.50ペソ (約129円)

ミネラルウォーターは「AQUA：水」と

「Mineral：炭酸水」の二種類があるので注意

両替



両替：両替所・銀行・高級ホテルで可能。両替は1万円から。

※USドルからメキシコペソへの両替が簡単、円は受けない可能性あり。

※1日300USドル。月に1500USドルまでしか両替できない。

電源とプラグ



電圧は120V、60Hz。

プラグの形は日本と同じタイプのものがほとんど。

電圧が不安定なため変圧器を利用した方が良い。



初日のスケジュール



ホテルにチェックイン



カリブ海を満喫！

■世界屈指のビーチリゾート・カンクンを堪能する



メキシコを代表する料理でディナー

■オープンスペースで頂く地元料理に舌鼓

世界屈指の高級ビーチリゾートの街

カンクン



メキシコ合衆国の南東部、カリブ海沿岸のキンタナ・ロー州にある都市。
マヤ語でカンは蛇、クンは巣という意味で蛇の巣という意味である。
1970年代にメキシコ政府の先導でリゾート地として開発された
世界屈指の高級リゾート地で年間330万人の観光客が訪れる。
大きくカンクンは、ホテルゾーンとダウンタウンに分かれている。
ホテルゾーンには高級大型ホテルが100軒ほど並ぶ。



カンクンでの移動に便利！

ホテルゾーンは24時間バスが運行している。
ホテルゾーンはメインストリートが一本なので、どのバスに乗っても間違える事はない。
バス停にバスが来たら、手を上げないと通り過ぎることもあるので注意。
降りるときに、車内のブザーを押して降りるのは日本と一緒に。

バス料金は一回の乗車で10.5ペソ（約82円）。



ホテルゾーンの繁華街は治安が良いので夜、
出歩いても大丈夫だが、
路地裏や人通りの少ない所は避けた方が無難。

至福の宿泊先① 日本初登場！カリブ海を一望するリゾートホテル

ニズックリゾート アンド スパ

2012年にオープンしたカンクンで一番新しいホテル（撮影時）。
広々とした敷地内にメインビルディングや客室棟、ヴィラなどが建ち並ぶ。
客室は最新設備が整いナチュラルテイストでしっくりと落ち着いた雰囲気。
一部、プライベートプール付きの客室もある。バラエティ豊かな飲食施設、ビーチクラブ、屋外プール、
スパ施設、子供用プレイグランドなど付帯施設も充実している。



ホテルのポーターに支払うチップは、
ベッドメイキングには20ペソ（約156円）
ベルボーイやルームサービスは10～20ペソ払うのが通常。

番組で紹介した部屋はマスタースイート。
カリブ海を一望できる、オーシャンビューで
プライベート・インフィニティープールがついています。
宿泊棟には専用のコンシェルジュがいます。
1部屋1泊：27,090ペソ（約213,000円）
※料金は季節によって変わります。



知ってて得する お得情報

リゾートのフルサービスでマッサージ、ボディトリートメント、マニキュア、ペティキュアのサービスが含まれている。
館内のスパで長旅の疲れをいやしてみるのも...。

カンクンを代表するビーチを満喫する！

ドルフィンビーチ

カリビアンブルーの海と白い砂浜のコントラストが絶妙。

昔はこの浜辺でイルカを見ることが出来たことからこの名前がついたのだそう。

現在は残念ながらイルカを見ることはできない。

パブリック（公共）ビーチなので地元民や観光客で賑わっている。

こちらのビーチ、平日に行くのが利用客も少なくオススメ。



チャックモールビーチ

ホテルゾーンの繁華街にあるビーチで最も人気のあるビーチ。

ビーチベッド、パラソルなどはホテルなどが所有しているので

無料では使用できないので注意。ホテル宿泊者は無料。

ビーチクラブなどで使用の場合は、 200~400ペソ（約1500~3000円）



カンクンに来たらぜひとも撮影したい
撮影スポットがドルフィンビーチにある。
海岸にある「CANCUN」の看板は
撮影しておきたいポイント。



カンクンの白砂は、碎けたサンゴでできている、
そのため熱くなりにくく、日中でも素足で歩くことが出来る。
せっかくなので、素足でビーチを歩く事をおすすめしたい。

ローカルなお土産を買うならここ！コーラル・ネグロ

繁華街の中心にあるいくつものお土産屋が店を連ねる民芸品売り場
小物などメキシコらしいお土産がたくさんある。

たとえば「サラペ」と呼ばれるポンチョなどメキシコならではの色彩豊かな小物類が豊富。
毎日朝の10時から夜の10時まで開催されているので、時間を気にせず楽しみたい。



こちらでは値段の交渉は必須！
マーケットの人たちもフレンドリーなので、
身振り手振りの会話を楽しみながら
金額交渉し、買い物するのも楽しい。



初日のディナーはやっぱり地元料理

タコファクトリー

繁華街の一角にあるオープンスペースのタコス店。

昼11時から朝の6時まで開いているので夜中に、小腹がすいても大丈夫。

タコスのメニューも豊富、メニューはスペイン語と英語表記がされているので、気軽に注文することが出来る。

タコスの辛さをビールで流し込むのがメキシコ流だとか。

番組で紹介した料理

ナチョス・コン・ポージョ 87.0ペソ（約675円）

タコス・デ・アラチュラ・コン・ケソ 40.0ペソ（約310円）

タコス・アル・パストール 20.0ペソ（約155円）

ミチエラーダ 47.0ペソ（約390円）

※ミチエラーダとは...ビールにライム、タバスコ、ウスターソース、マギーソース、黒胡椒などを混ぜた飲み物。
メキシコでは人気のカクテル



2日目のスケジュール



カンクン定番のワンディトリップ
イスラ・ムヘーレス



イルカに癒される
ドルフィンディスカバリー



ビーチに沈む夕日を眺める
ココビーチ



マリアッチの歌声を聴きながらディナー
アシエンダ・エル・モルテロ

人気NO.1のドルフィンスポット！ イスラ・ムヘーレス



イスラ・ムヘーレスとはスペイン語で「女の島」という意味。
マヤの時代には月の女神イシュチエルが祀られていたことからその名が付いた。
大型ホテルが林立するカンクンの街と比べると、のんびりとした島。
まさに「バカンス」という言葉が相応しい場所である。
少し足を延ばすとカラフルに彩られた家が並ぶ住宅街もある。

最もにぎわっているのは、街の中心を通るイダルゴ通り。
地元・メキシコ料理やイタリア料理をはじめ、土産物店などが軒を連ねる。



島の移動方法

ちょっとした移動にはタクシーが便利だが、
「1日を満喫したい」そんなあなたにはゴルフカートが便利。

利用時間 9:00~17:00 400.0ペソ（約3148円）
身分証明ができるものが必要。



イスラ・ムヘーレスは空気が澄んでおり美しい星空を眺めることができる。
ここにはほんの一時だけしか見る事が出来ない特別な星空、すなわち「マジックタイム」が存在する。
それは、太陽が海に向かって沈んだ瞬間。太陽のオレンジ色と漆黒の空が混ざり合った群青色にも似た空に
星が瞬くこの時間は「マジックタイム」と呼ぶにふさわしい至福のひととき。

サンゴの楽園でイルカとの触れ合い ドルフィン・ディスカバリー

イスラ・ムヘーレスではイルカと楽しむプログラムが人気。

施設では好奇心旺盛なイルカたちが水面から顔を出し旅人を歓迎してくれる。

園内にはバンドウイルカをはじめ、ブルーシャークやマナティ、シーライオンなど多くの海洋動物と出会うことが出来る。

こちらでは多彩なコースが設定され、ツアーによっては出発地点が異なる事もある。

事前に旅行会社など代理店に相談しておくとよい。



多彩なコース

スイム・アドベンチャー

握手やキス、胸びれにつかまって泳ぐベリーライドなどを楽しむことが出来るコース。
出発はホテルゾーンにあるフェリー乗り場からになる。



ドルフィンロイヤル

日本人には一番人気。

握手、キス、フットプッシュの他に、背ビレにつかまって泳ぐドーサル・トゥなども楽しめる。

スイム・アドベンチャー
大人1名 \$2,450.00

エンカウンター

1歳から参加可能なプログラム。握手、キス、ハグを楽しめる。



イルカのキスはベリーハード？

ドルフィン・ディスカバリーでは、イルカがキスをプレゼントしてくれるのだが、
ライトな「チュッ」というより「グググ」と押し付けてくる感じ。
強引なキスがお好きな方はお試しあれ。

カリブの大自然を満喫！ ガラフォンパーク

ガラフォンはカンクン対岸イスラ・ムヘーレスの有名シュノーケリングスポット。公園そのものがリーフの中に入ったり、岸から出たり入ったり、体力に合わせて楽しめる。

また海の各所にあるプラットホームから、飛び込んだり、カリブ海の美しい海が一望できる高台から、豪快にジップライン（有料）で滑り降りたり、無心になって遊べるわんぱくスポット。

散歩コースや島の南端にある灯台へのツアーなどツアーも様々。
また展望レストランも、見晴らしがよく優雅なムードで気分上々。

泳ぎ疲れたら、ココナッツの木陰のハンモックでシェスタ（お昼寝）も。

一日があっという間に過ぎて行きます。



こちらの公園を楽しむツアーが数多く設定されている。
多くのものが様々なマリンアクティビティーを愉しむほかに
食事やドリンクなどのサービスも含まれている。
旅行代理店などに問い合わせてみては？

プンタ・スール

断崖絶壁にたった絶景を望む岬。
別名・イグアナの岬とも呼ばれ、大小のイグアナが日光浴をしている。
こちらは難易度の高いダイビングスポットとしても有名で
世界中からダイバーたちが集う。



リゾートの中にある田舎町 ダウンタウン

素朴な土産屋が立ち並ぶ、のんびりとした田舎町の雰囲気。
メキシコの古き良き時代にタイムスリップ
したかのようなノスタルジックな街。
ダウンタウンはぐるっと歩いても30分くらいの広さなので
散歩がてら歩いてみるのもよい。



メキシコ有数の夕陽絶景ポイント ココビーチ

島の北側に広がるホワイトサンドのビーチは島一番の美景が楽しめる。
真っ青な海を眺めながらビーチでのんびり...まさにカリビアンリゾートを満喫することができる。
昼は沖のスポットに船で向かうシュノーケリングや
潮の流れに沿って楽しむドリフトシュノーケリングなどが人気。
また西側に面したビーチなので海に向かって沈む夕日を臨む事もできる
イスラ・ムヘーレスにきたら絶対に立ち寄りたいスポット。



現地在住日本人も勧める絶品ディナー アシエンダ・エル・モルテロ

カラフルに彩られた店の内装は植民地時代の農園をイメージしたもの。
古き良きメキシコのムードあふれる店内で本格的なメキシコ料理を楽しむ事ができる。
また、毎晩19:00~22:30までマリアッチの華やかな演奏が楽しめる。
そのため早めの来店をおすすめする。

番組で紹介した料理

マール・イ・ティエラ	610.0ペソ (約4800円)
マルガリータ・デ・ライム	190.0ペソ (約1500円)



3日目のスケジュール



カンクン人気のショッピング
ラ・イスラ・ショッピング・ビレッジ



意外なお土産
消防署で作る意外な物



幻の食材
クラブハウスを堪能する

一日中過ごせるショッピングモール ラ・イスラ・ショッピング・ビレッジ



限られた滞在時間内に効率よく買い物をするならショッピングモールがオススメ。
こちらはラグーンに面した広大な敷地に多くの店舗が並び、
心行くまで買い物を楽しむ事ができる。
カジュアルブランドが中心だが水着やTシャツなど南国ならではのものも多い。

また敷地内には水路が走り水族館まで併設されている。
若者はもちろん、年配者でも一日中楽しめる施設。



夜になると館内はライトアップされ
昼とは全く違う姿を見せてくれる。
昼は暑いためか夕方以降に観光客が多く集まる。



メキシコ土産の定番が手に入る プラサ・ラ・フィスタ

カンクン最大規模を誇る大型ギフトショップ。
民芸品をはじめ、アクセサリーや食品類などが
それぞれコーナー化され豊富に品揃えされている。

ばらまき用の小物から自分用のお土産まで
効率的にメキシコの定番土産を探すならもってこいの一軒。



カンクンの街を守る消防署が発売する意外な一品

ホテルゾーンにあるパステルカラーに塗られたかわいらしい消防署。
こちらには隠れた名物が発売されている。
消防署オリジナルのTシャツ。
胸にはカンクン消防隊のエンブレム、背中にはカンクン消防レスキュー隊のロゴがプリントされている。
営業時間はもちろん24時間。旅の記念にどうぞ。



Tシャツ 85.0ペソ（約660円）

絶品海の幸を堪能！ クラブハウス

1999年創業のクラブハウス。カニとロブスターが評判の店。海を見渡すオープンエア席がおすすめ。
店のオススメはストーンクラブ。
ストーン・クラブとは、学識名を「Menippe mercenaria」と呼ぶ、アメリカ大陸東沿岸部を中心に生息する
イソオウギガニ科の蟹。岩場の沿岸地域を中心に生息している。
特徴は爪の大きさ。これは、大きな爪で天敵であるタコから身を守るという目的で進化してきた結果。

番組で紹介した料理



ストーンクラブ・ジャンボ
510.0ペソ（約4000円）



名物 モヒート
114.0ペソ（約880円）



シーザーサラダ
120.0ペソ（約930円）



4日目のスケジュール



世界遺産 チェンイッタで悠久の歴史に浸る



ちょっと休憩
レストランでランチ



これぞメキシコ!
パーティークルーズ

一大文明の軌跡 世界遺産 チチェン・イツツア

チチェン・イツツアは、メキシコのユカタン半島に残されたマヤ古典期最大の都市遺跡。戦闘部族トルテカの影響を受けた建造物は華やかに彩られ、栄華を極めた当時をしのばせる。広大なジャングルの中には戦士の神殿、天文台など、数多くの遺跡群が点在する。



エル・カスティーヨ

エル・カスティーヨは高さ約24m、9層からなる壮大なピラミッド。4面に配された各91の階段に最上部の神殿を加えると階段の総数は「365」となり、全体が1年を表すマヤの暦となります。

エル・カスティーヨは、春分と秋分の日に起こるククルカンの降臨現象で知られています。太陽が西に傾くと、ピラミッド下部に取り付けられた蛇の頭部の石像が照らし出されると同時に、北東の階段側壁にうねるような光のジグザグ模様が浮かび上がり、巨大なククルカンの蛇が姿を現します。

ククルカン

マヤ神話の至高神、創造神。羽のはえた蛇



鷲とジャガーの神殿

神殿に描かれたモチーフ。

ジャガーと鷲が手にしているのは、生贊にされた心臓ジャガーは夜の支配者を表し鷲は昼間の支配者を表す。

生贊の台座

生け贋の頭蓋骨が置かれた台座 戰闘部族であったトルテカ文明の影響を色濃く受けている建造物。

基壇に刻まれた頭蓋骨のレリーフ。この上に生け贋の生首が並べられた。



球戯場

この有名な古の儀式が行われた巨大なチチェン・イッツア球戯場は、これまでに見つかったマヤの球戯場の中で最大といわれている。

全長168メートル幅70mを誇り、メソアメリカで最も大きい球戯場。

ここで、ひじやひざなどを使って、壁のリングを通す命懸けのボールゲームが行われていました。

球戯場の壁は神聖なゲームのルールと詳細が表現され、魅力的な彫刻であふれている。

ある彫刻にはこのゲームに参加したチームリーダーが斬首される様子も示されている。

この球技の勝者（敗者という説もある）が生贊として捧げられたといわれている。



戦士の神殿

「千本柱の間」と呼ばれる回廊の背後にそびえる神殿。

祭壇の周囲に顔の描かれた石柱が並んでいることから、この名がある。石柱は全部で746本。

祭壇の上には、生け贋の心臓を取り出すときの台としたといわれているチャックモール像がある。

現在、祭壇の上には上れない。



林立する石柱の意味を知る

林立する石柱にはかつて屋根がついていて、宿のような役割をしていたといわれている。

そこには商人が住み、市場として利用されていたといわれている。

チャックモール

怪談上部から周囲を見渡すように寝ころぶチャックモールの像。

腹部には生贋の心臓を置いたといわれ、戦闘民族トルテカの影響をうかがわせる。

セノーテ（聖なる泉）

ピラミッドや神殿、球戯場が点在する芝生広場から、ジャングルを小道に入って歩くこと少し。

セノーテと呼ばれる聖なる泉が現れる。ここは石灰岩質の陥没穴に地下水が溜まった、

ユカタン半島独特の泉。

タン地方ではこの泉はセノーテは領民たちの水源であった。

と同時に、雨乞いや豊作を願って生け贋を捧げる場所でもあった。

泉の底からは子供や女性、金や翡翠の装飾品などが数多く出土している。



遺跡巡りの間のお食事処 レストランオクトン

チ첸イツアの中にあるレストラン。
メキシコ料理やマヤの料理が食べられる。
出口のすぐそばにあるので、
遺跡散策で時間が余った時には休憩所としても
活用できる。



ライムのスープ
70.0ペソ（約550円）

ユカタン半島を代表する豚肉料理で、柑橘系のジュースに漬け込んだ豚肉を焼く。
備え付けは玉ねぎのピクルス、豆のペースト、サルサなどをとあわせて頂く。
柑橘系の酸味がほどよく口に広がる。
味の濃いメキシコ料理に飽きたらこの料理はいいかも。



ポックチュック
165ペソ（約1280円）

天文台

「カラコル」と呼ばれる天文台も残されている。

中央にあるドームはトルテカ文明の影響を受けたもので、高さが22mもある。

頂部の観測室の壁には四角い窓が切り込まれており、窓から太陽や月、星の位置を確認する

いわゆる照準線として機能していたと考えられている。これらの位置からマヤの人々は農作物の収穫期を知る事ができた。



Point

カラコルとは？

「かたつむり」という意味を持っており
ドームの形からその名がつけられた。

尼僧院

スペイン人がマヤの女神官の住居と考えて「尼僧院」と命名したらしい。

尼僧院と命名されているが、実際の役割は不明。



教会

マヤの人々が信仰した雨の神チャックの顔が建物の上部に切り石ではめ込まれている。

建物は大きくないが、ほぼ全面に施された装飾が素晴らしい。

尼僧院の隣に建っているため「教会」と呼ばれたようだ。

巨大なチャック像をはじめ、アルマジロ、ヤドカリ、カメ、カニと水に関する神や生き物がレリーフとして彫られている。



15añera (キンセアニエーラ)

メキシコでは女性は15歳、男性は18歳の誕生日を迎えると、成人といわれる。女性の15歳は「15añera (キンセアニエーラ)」と呼ばれ、盛大に行われるが、男性の成人式は、なぜか女性より地味に祝われる。

娘のキンセアニエーラのために、親は1年以上前から予定を組んで、シンデレラのようなドレスを用意し、会場を決め、莫大なお金をつけ込む。メキシコでは結婚式よりも重要とされる行事なので、親戚や隣人からも援助してもらう。



カンクンで一番新しく人気のパーティークルーズ

ジョリー・ロジャー海賊船クルーズ

大人も子供も楽しめるイベントがたくさん！船に乗って3時間カリブの海賊が踊りまくりのエンターテインメントショー。ディナーはビュッフェ形式。食事の後は、カリブの海賊ショーを楽しむ。

ステージ上では音楽に合わせ海賊たちが歌って踊る。そして手に汗握るようなシーンも....。

パーティーの熱気をビールと共に楽しみたい。

最後は、乗客全員でダンス。陽気なメキシカンを垣間見る事が出来る。



ジョリー・ロジャー海賊船クルーズ
プレミアムツアー 1400.0ペソ (大人)
(約11000円)

5日目のスケジュール



カンクンとは違った静かなビーチ
リビエラマヤベスト1のビーチクラブ



人気のシュノーケリングスポット
ウミガメとシュノーケリン



世界が注目する最新リゾートホテル
オールインクルージブのホテルで至福のひと時

カンクンの「その先にある楽園」 リビエラマヤ

カンクンから海岸線に沿って南へ車で約1時間ほどの、一見何もないジャングルの中に作られたリゾート地区リビエラマヤ。この地区的ホテルの周囲には海とジャングル以外何もなく、誰の邪魔も入らないプライベート感と静寂に包まれ、カリブ海の波音をBGMに落ち着いた大人の時間を過ごすことができる。



ビーチクラブ・マミータ

近年、注目を集めているリゾート地、リビエラマヤ。その中でも最高のビーチと言われている場所が「ビーチクラブ・マミータ」。賑やかなカンクンとは少し違う大人なビーチで、ゴージャスに、かつ静かに過ごしてみるのは? ちなみにビーチクラブとは日本語で言えば「海の家」といったところ。



リビエラマヤ最大の繁華街 プラヤ・デル・カルメン五番街

大きな顔の噴水が目印の五番街。

数年前まで小さな町だったのが、豪華客船の玄関口、ヨーロッパやアメリカなどからの観光客が増えている。

上質なサービスを受けられるオシャレなホテルやモダンなカフェ、ハイセンスなブティックなどが立ち並び、特にディナータイムには多くの観光客が訪れます。

この町ではビーチの美しさもさることながら、夕焼けに染まった美しい街並みを見て頂きたい。



レストラン ロル・ハ

水着でも入る事ができるまるで海の家みたいなレストラン。店内からはアクマルビーチが望め、遠浅の海が広がっている。



番組で紹介した料理は

アラチエラ・ア・ラ・パリージャ（マリネしたハラミのステーキ）

アラチエラ・ア・ラ・パリージャ 160.00ペソ 約1,300円

牛ハラミのステーキ ハラミをマリネしてから焼くメキシコでは定番のステーキ

シュノーケリングで有名 アクマルビーチ



シュノーケリングセット
225.00ペソ（約1750円）

シュノーケリングで有名なビーチ。ウミガメと泳ぐことができる。

ウミガメを驚かせないために深く潜ってはいけないなど様々なルールが注意が必要。

事前に旅行代理店などに確認しておくとよい。

遠浅の海を100メートルほど泳ぐとウミガメがいる

この海中にウミガメが好む水草が群生しており、そのためウミガメが集まる。

シュノーケリンググッズはレンタルも可能。手ぶらでシュノーケリングを愉しむ事ができる。

至福の宿泊先② グラン・ベラス・オールスイート&スパ・リゾート

今注目されているエリア、リビエラマヤに位置する、グラン・ベラス・オールスイート&スパ・リゾート。

東京ドーム1900個分以上の広大な敷地（約82ヘクタール）には、3つの宿泊エリアがあり、

全539室でオールインクルーシブ（宿泊代の中に飲食代金も含まれる）が適用され、幅広い客層から支持を得ている。

館内にあるフレンチ、イタリアン、メキシカン、アジアンなどのレストランのほか

プールに設置されたバーカウンターなど全8か所の飲食スペースが無料で利用できる。

※スパや高級ワインは有料となる。



今回紹介した部屋

グランド・クラス・スイート・オーシャンフロントビュー

大人1名1泊 11780.0ペソ（約91000円）



トリプルエー AAA-5 ダイヤモンドアワード賞受賞

トリプルエー AAA-5 ダイヤモンドアワードは、
AAA (American Automobile Association アメリカ自動車協会) が毎年、
北・中米大陸の優れたホテルを50~60軒選び、表彰する名誉ある賞。

トリプルエー 1から5までの5段階で評価され、
最良である5は全体の0.2%くらいしか受賞しない。
ヨーロッパの「Michelin(ミシュラン)」に匹敵する品位と格式がある。



ホテルの敷地内にある豪華レストラン① ピアフ

正統派の高級フランス料理のダイニング。

19歳以上オンリーのまさに「大人のための」レストラン。

エスプリの効いたインテリアの店内で、シェフ自慢のレシピをご堪能ください。

※要予約 ドレスコード有（半ズボン・サンダル・TシャツはNG）



ホテルの敷地内にある豪華レストラン② フリーダ

メキシコの代表的な女流画家”フリーダ・カーロ”の名前を冠した高級メキシカンのダイニング。

本場のメキシカンとは異なり、外国人向けにアレンジされたメキシカンを味わう事が出来る。日本人にもなじみやすいはず。

※要予約 ドレスコード有（半ズボン・サンダル・TシャツはNG）

ホテルの敷地内にある豪華レストラン③ コシーナ デ アルトール

世界的にも有名な雑誌”フード&ワイン・マガジン”で発表された

「新しい食事と飲み物を生み出す100人のシェフ」に選ばれたシェフが独自の世界観を持つ、新しい料理を体験させてくれる。

料理は「モルキュラー料理」と呼ばれ、調理を物理的・化学的に解析し、全く違った分野から料理にアプローチするという世界最先端の料理。

※要予約 ドレスコード有（半ズボン・サンダル・TシャツはNG）



最終日のスケジュール



聖なる泉で神秘の世界にもぐる
グランセノーテでシュノーケリング



カリブ海を望む要塞都市
マヤ終焉の遺跡トゥルム



メキシコの自然と文化を楽しむ
シカレ

神秘的な光景を見るならここ！グランセノーテ

マヤの人々が聖なる泉として崇めた「セノーテ」は、雨の神が住む異世界として信じられてきた。

そんなミステリアスなセノーテが点在するユカタン半島は、メキシコの観光名所のひとつ。

「グランセノーテ」は、一度見たら虜になってしまう程神秘的な光景が見られるスポット。

100m先まで見える程の透明度を持っている。海や川とはひと味違う幻想的な光景が見られ、マヤの人々が異世界と信じたのもうなづける。

現地では、シュノーケリングセットやウェットスーツの貸し出しも行っている為、持ち物は水着だけでOK！

簡易更衣室やシャワールームもあるので、その場で着替えることも可能。



入場料金	150.0ペソ (約1200円)
シュノーケリングセット	80.0ペソ (約620円)
ライフジャケット	50.0ペソ (約390円)

マヤ終焉の地 トゥルム遺跡

トゥルム遺跡は、マヤ文明末期に栄えた城壁都市の遺跡で、マヤ文明の終焉の地ある。

内陸にあるコバー遺跡のための主要な港として用いられていた。メキシコのカリブ海に面したユカタン半島東海岸のキンタナ・ロー州にあり、廃墟は、高さ12メートルの崖の上に位置している。



入場料金	64.0ペソ (約500円)
ビデオ撮影代	45.0ペソ (約350円)

フレスコ神殿

内部に神殿の名前の元となったマヤの神々が描かれたフレスコ画が残っていることで有名。
死者の住む地下世界・人々の暮らす中間世界、創造神と雨の神チャックが住む
天上界というマヤの世界観を示す壁画

この神殿には角に瞑想にふけっているような人の大きなマスクがあり、
片方は目を開けていて「生」を表し、逆の角には目を瞑っており「死」を表している。
これは、マヤ死生観を表すと考えられている。



降臨する神の神殿

カスティーヨの左側にある神殿上部にレリーフがあり、
養蜂の神など様々な解釈がされている。
天から降ってきたためお尻と足が上になった逆立ちをするような恰好が特徴。



メキシコの自然と文化を肌で感じるシカレ



ピューマとジャガーの島

マヤ時代の神聖な動物、ジャガーを間近に見られる。
風格ある2頭のジャガーのほか、ピューマにも出会える。

地下水路

シカレの園内に水路がはりめぐらされている。
泳がなくても流れがあるので浮かんでいるだけでゴールに到着する。
途中水路が幾つかに分かれているが最後は同じゴールなのでご安心を。

公園のテーマは自然とカルチャー。多彩なショーも楽しめる！
マヤ語で「入江」を意味するシカレ。

公園内には美しい入江やビーチ、ラグーンがあり広大な敷地を利用した、鍾乳洞での川下り、
マヤン・ヴィレッジ訪問、様々な動物との触れ合いと、数多くのアクティビティが体験できる。
1000年も前に使用されていたという古代マヤの港と、周囲の豊かな自然をそのまま利用し、
海と陸の両方を楽しめるように造られている。

1日平均1600人が訪れるという、カンクンで最も人気のエクスカーションスポット。

園内にはレストラン等の飲食店、スノーケリングやダイビングのレンタル、ロッカー、シャワーの設備も
整っているので、水着ひとつで気軽に遊べる。
デッキチェア、大きな浮き輪、スノーケリング用ライフジャケット等は無料。



入場料金 大人1485.0ペソ（約11645円）

次回の旅の提案は8月14日、アメリカ・セドナを巡る7日間の旅をお送りします。

そして旅にオススメの素敵な音楽探しは

MUSIC TRIP
～至福の音楽旅～

へどうぞ！